

2015年10月27日
株式会社日立製作所

日立がミャンマーにおける昇降機事業を拡大 ミャンマー国内での販売・サービスを主な事業とする合弁会社を設立

株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)は、日立製昇降機の製造・サービスを主な事業とする Siam-Hitachi Elevator Co., Ltd.(President:大石 達郎/以下、サイアム日立エレベーター社)、ならびにミャンマー連邦共和国(以下、ミャンマー)の Prime Deco Engineering Co., Ltd.(Managing Director:Sein Lin/以下、プライム・デコ社)とともに、ミャンマーにおける昇降機の販売・サービスを主な事業とする合弁会社 Hitachi Elevator (Myanmar) Co., Ltd.(Managing Director:江口 清/以下、日立エレベーター・ミャンマー社)を設立しました。合弁会社は 11 月から本格的に営業活動を開始し、ミャンマー市場での受注拡大をめざします。

ミャンマーの建設市場は、社会基盤となるインフラの整備や、外資系製造業の参入による工場建設などで需要が急速に拡大しています。これに伴い、ミャンマー企業だけでなく、シンガポールやベトナムなどの外資企業が手掛けるホテルや、オフィスビル、住宅などの需要が増加しています。その中で、今後ミャンマーの昇降機の新設市場規模は、2015 年度の約 1,300 台から 2020 年度には約 2,000 台へ増加が見込まれており、年率 7%を超える高い伸びが期待されています。

日立は、1997 年にミャンマー最大の都市、ヤンゴンの「サクラタワー」に 4 台のエレベーターを納入するなど、以前からミャンマー市場に参入しており、これまでに「シャングリ ラ レジデンス」の建設工事、「セドナホテル」の拡張工事など、ヤンゴンの代表的な開発案件において昇降機を納入してきました。また 2013 年 11 月にプライム・デコ社と代理店契約を締結し、その後も積極的な営業活動を展開しており、最近ではヤンゴン最大級の開発案件である複合施設、「HAGL ミャンマーセンター」ですべての昇降機 70 台を受注し、現在、2015 年末の竣工をめざして、据付作業を進めています。

日立は世界最高速となる分速 1200m のエレベーターを開発したエレベーターメーカーであり、今後は、今回設立した日立エレベーター・ミャンマー社を中心に、ミャンマーの経済発展に貢献し、昇降機市場で営業活動を強化していきます。

■日立エレベーター・ミャンマー社の概要

社名	Hitachi Elevator (Myanmar) Co., Ltd.
代表者	江口 清(Managing Director)
所在地	ミャンマー ヤンゴン市
設立年月	2015年7月
事業概要	昇降機の販売、据付、保全
従業員数	約25人
資本金	2M USD(約2億4千万円) (出資比率:日立製作所27%、サイアム日立エレベーター社50%、 プライム・デコ社23%)

■サイアム日立エレベーター社の概要

社名	Siam-Hitachi Elevator Co., Ltd.
代表者	大石 達郎(President)
所在地	タイ バンコク
設立年月	1991年11月
事業概要	昇降機の販売、製造、据付、保全

■プライム・デコ社の概要

社名	Prime Deco Engineering Co., Ltd.
代表者	Sein Lin(Managing Director)
所在地	ミャンマー ヤンゴン市
設立年月	2013年9月
事業概要	昇降機の販売、据付、保全

■本件お問い合わせ先

株式会社日立製作所 都市開発システム社 カスタマー・サポートセンター
電話:0120-508-104(フリーダイヤル)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
